

職員による自己評価

A環境面

△提供できる人員の不足

B児童への支援内容

○アセスメント、支援計画、訪問支援での取り組み、支援後の報告など、連絡や共有ができて  
いる

C関係機関との連携

△訪問支援に特化した会議や研修などで外部との関わりを持つ機会が無かった

D保護者への説明責任・信頼関係

○ご相談に対し、対面の面談だけでなく、メールやLINEも活用して対応  
△保護者同士の交流の促進

E非常対応

△緊急時のマニュアルや安全対策など、訪問支援に特化したものは無かった

保護者による評価

A環境面

△プライバシーに配慮された面談室でない

B児童への支援内容

○お子さんに合わせた支援内容が具体的に設定されている  
△訪問先との共有ができていないのか知らない

C事業所からの情報発信

○説明や面談で情報共有ができている  
○相談事や質問にも対応ができています

D非常対応

△策定されたマニュアルの周知がされていない

事業所内での分析

【共通点】

- ・適切な面談室ではない
- ・適切な支援計画や支援内容が共有、報告されている
- ・緊急時や安全に関するマニュアルや計画がない

【相違点】

- ・訪問先と支援計画について、意向の確認や情報共有がされているのか知らない

## 分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・ 個々の課題に合わせた支援計画を作成し、適切な支援を行い、報告がされている
- ・ 面談、メール、LINEにてご相談に対応

### 事業所の改善点

- ・ 面談の環境改善
- ・ 訪問先との情報共有を保護者へ報告
- ・ マニュアルの周知

## 事業所の改善への取り組み

- ・ 面談の環境改善  
→ 個室が準備できない時は直接面談を避け、オンラインなど他の方法を提案する
- ・ 訪問先との共有を保護者へ報告  
→ 個別支援計画作成時は、訪問先にも確認を行い共有していたが、それを保護者にお伝えしていなかった。訪問先との確認済みということがわかるような一文を加えたい
- ・ マニュアルの周知  
→ 訪問支援時は訪問先のマニュアルに従い、安全管理も独自に動くことは無いが、そのことを共有、周知していなかったため、利用開始時のご説明に組み込む

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・ 支援内容や報告についてはご満足頂いている返答が多く安心した。ご家族の信頼を維持できるよう、更なる質向上に努めたいと思った。
- ・ 当たり前に行っていることも、情報共有や改めて明文化することが必要だと感じた。安心してこれからも訪問支援をご利用頂けるよう努めたい。
- ・ 訪問支援に伺っている2時間弱の間でも、緊急対応が必要なこともあるので、どう動くか、どこまで介入するのかなど、利用開始前の訪問先との打ち合わせでもしっかり確認していきたい。

事業所名 発達療育 レンテ

担当者 児童発達支援管理責任者 北原 亜紀